

日本思春期青年期 精神医学会

Japanese Society for
Adolescent Psychiatry

第35回大会

ハイブリッド開催

大会テーマ

現代若者のこころの居場所づくり： リアルとバーチャルの狭間で

会期 2023年7月22日(土)・23日(日)

会場 九州大学医学部百年講堂
(福岡市東区馬出3-1-1)

学会会長 松田 文雄

大会会長 加藤 隆弘

第1日目 7月22日(土)

シンポジウム(ハイブリッド配信)

「居場所づくりの病理を再考する」

座長 松田 文雄(松田病院)

演者 近藤 直司(大正大学)「ひきこもりと居場所」

池田 暁史(大正大学)「ナルシズムと居場所」

補永 栄子(クリニックおぐら)「思春期家族の虚像と実像」

指定討論 白波瀬 丈一郎(東京都済生会中央病院)

西 見奈子(京都大学)

特別講演(ライブ講演・ハイブリッド配信)

演者 北山 修(白鷗大学学長)「ネット文化と『見るな』の禁止」

特別企画

学会初日7月22日から8月31日まで視聴可能

オンデマンド教育講演「こころの居場所づくりの達人たちに学ぶ」

相田 信男(群馬病院名誉院長)「病棟がこころの居場所になるとき」

齊藤 万比古(母子愛育会愛育相談所 所長)「不登校支援と居場所」

松木 邦裕(京都大学名誉教授)「居場所とネガティブ」

第2日目 7月23日(日)

ワークショップ1(ハイブリッド配信)

「居場所づくりから若者のこころの支援を考える」

座長 平野 直己(北海道教育大学)

演者 渡部 京太(群馬病院)

「グループによる居場所づくり」

坂本 真士(日本大学文理学部)

「新型/現代型うつ=対人過敏&自己優先的な若者の居場所とは」

浅海 道子(特定非営利活動法人JACFA/福岡市ひきこもり成年地域支援センター)

「メタバースを活用したひきこもりの居場所づくり」

指定討論 増尾 徳行(ひょうごこころの医療センター)・大橋 良枝(聖学院大学)

ワークショップ2(現地のみ)

「母子の居場所づくりによるこころの発達への支援」

監・オーガナイザー 山下 洋(九州大学病院)・生田 憲正(クリニックおぐら)

演者 立花 良之(国立成育医療研究センター)

「周産期・育児期に医療・保健・地域などで支える親子の居場所」

鈴木 佳子(クリニックおぐら)

「母子をコンテインメントする治療空間の創造」

山下 洋(九州大学病院)

「逆境下にある親子への支援—アタッチメントと居場所をめぐる—」

池崎 一心(母子生活支援施設 百道寮)

「母子生活支援施設での母子の居場所作り」

市民公開講座「若者のこころの支援:九州大学モデルの紹介」

中尾 智博 教授(九州大学 精神病態医学)

「溜め込みたいこころの支援」

神庭 重信 名誉教授(九州大学)

「消えたいこころの支援」

黒木 俊秀 教授(九州大学 人間環境学府)

「きゅうくつなこころの支援」

加藤 隆弘 准教授(九州大学 精神病態医学):コーディネーター

参加費

会員(医師) 15,000円

会員(医師以外) 12,000円

非会員 12,000円

大学院生 5,000円

お問い合わせ先

日本思春期青年期精神医学会事務局

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室内
E-mail: jsap.gim@gmail.com

第35回大会事務局

九州大学大学院医学研究院精神病態医学内
E-mail: jsap35fukuoka@gmail.com